



ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当行の平成24年9月期の決算概要や最近の取組みなどについてご紹介する「とりぎん通信／2012中間期ミニディスクロージャー誌」を発刊いたしました。ご高覧のうえ、ご参考にいただければ幸いに存じます。

さて、今年度上半期は東日本大震災からの復興関連需要が高まり、内需関連業種の企業収益の改善や設備投資も増加したほか、補助金などの政策効果に支えられた個人消費の増加によって底固く推移しました。しかしながら、長引く円高の影響や領土問題に伴う日中関係の悪化によって輸出や観光等への影響が懸念されるほか、補助金終了に伴う個人消費の息切れなどで足元の景気は踊り場の局面となっております。

このような環境の下、当行では平成24年4月より、中期経営計画「考動と開革24-26」に取組んでおります。この計画では、急速なグローバル化や高齢化など、地域社会が大きな変革期を迎えるなか、お客さまの課題解決や夢の実現に向けた最適なソリューションを提供していくことにより、「地域と共に新たな時代を切り拓く銀行」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

取締役頭取 宮崎 正彦

CONTENTS

- ごあいさつ P1
- 中期経営計画「考動と開革24-26」... P2
- 特集 大切な自然を守るために P3
- 特集 安心・快適な窓口を目指して P5
- 特集 とりぎんの新CMがオンエア開始! ... P7
- ビジネスマッチングの取組み P9
- 地域の皆さまとともに P10
- とりぎんの「いま」
(平成24年度中間決算のご報告) ... P11
- 株主の皆さまへ P14
- とりぎんのネットワーク 裏表紙

<計画期間：平成24年4月～平成27年3月>

中期経営計画 考動と開革 24-26

目指す姿 >>>

地域と共に新たな時代を切り拓く銀行

急速なグローバル化や高齢化など地域社会が大きな変革期を迎えるなか、お客さまの課題解決や夢の実現に向けた最適なソリューションを提供し、地域と共に新たな時代を切り拓く銀行を目指します。

基本方針

お客さま志向に徹した金融サービスの提供

きめ細かいコンサルティング機能の発揮

ふるさと価値の創造

行動方針

信頼と笑顔

地域に感謝 Move your heart

基本戦略

ゆるぎない営業基盤の構築

- 営業人員の増員と資質向上による現場力の強化
- 地域密着型金融の更なる実践
- 個人リテールビジネスの強化

経営効率の向上

- 新システム活用による業務効率化
- 本部スリム化と店舗再整備による経営資源の戦略的再配置
- 抜本的なコスト見直し

とりぎんブランドの確立

- ユニークな店舗展開と商品・サービスの充実
- 効果的な広告宣伝・広報活動の展開
- 地域社会への貢献と環境保全に関する活動
- ホスピタリティの向上とバリアフリーの推進

人財力の強化

- 女性行員やパートナーの活躍機会拡大
- コンサルティング能力の向上・発揮
- モチベーションの向上

『規律ある組織』の形成

- 強固なコンプライアンス態勢の構築
- 高度なリスク管理態勢の整備
- 決めたことをやり抜く実行力の向上

計数目標 (平成26年度)	コア業務純益	本体行員数	不良債権比率	総預かり資産残高
	30億円以上	675人程度	2%台	1兆円以上